

総社 2022年の主な出来事

| 月 | 日 | 出来事 |
|----|----|--|
| 1 | 9 | 成人記念式を2年ぶりに開催(写真1) |
| 2 | 8 | 中央公民館池田分館が移転新築 |
| 2 | 22 | 市役所で防災・避難訓練を実施。市と市消防本部の職員をはじめ、来庁者、近隣住民など約500人が参加した(写真2) |
| 3 | 3 | そうじゃ吉備路マラソンの代替イベントとして、「そうじゃ吉備路マラソン 夢のトークマラソン」を開催。青山学院大学陸上競技部監督の原晋さんと日本陸上競技連盟副会長の瀬古利彦さんを招待し、ランニング教室とトークショーを行った(写真3) |
| 3 | 29 | 障がい者千五百人雇用事業をPRするラッピングトラックが全国へ出発(写真4) |
| 4 | 8 | 吉備路もてなしの館がリニューアルオープン |
| 4 | 26 | 総社特産のセロリを使用したジェラート・セロリモーネを発売(写真5) |
| 5 | 17 | 市消防本部発足60周年記念式典を開催 |
| 6 | 30 | さまざまな事情で十分な教育を受けられなかった人などに学びの機会を提供する夜間中・学びの教室がスタート(写真6) |
| 7 | 6 | 平成30年7月豪雨災害四周年式典を開催 |
| 7 | 11 | 鎌倉市・延岡市と障がい者雇用の推進に関する包括連携協定を締結 |
| 8 | 10 | プレミアム率70%そうじゃ物価対策応援券の販売を開始(写真7) |
| 8 | 31 | 出張！学校美術館が総社小学校でスタート |
| 9 | 21 | 1日学校美術館が昭和中学校でスタート |
| 9 | 23 | 赤米フェスタ2022コンサートを3年ぶりに有観客で開催 |
| 11 | 12 | そうじゃ子ども議会を開催。部活動の地域移行について、現役の中学生が意見を述べた(写真8) |
| 12 | 10 | 冬巡業大相撲総社場所を開催 |



2500発の花火が総社の夜空を彩った雪舟フェスタ【8/6】



ステージ発表で会場が盛り上がった清流まつり【7/30】



美しい音色が会場を包んだ『第九』演奏会【12/25】



参加者たちによる熱戦が繰り広げられたた力石総社【8/28】



3年ぶりに有観客で開催された赤米フェスタ2022コンサート【9/23】

新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされていたイベントが、数年ぶりに感染対策をとりながら開催されました。訪れた市民らは、久々の夏祭りや演奏会などを満喫していました。令和5年2月26日には、4年ぶりにそうじゃ吉備路マラソンが開催されます。

総社ににぎわい戻る

ウクライナから総社へ 平和の尊さを伝える

ロシアによる侵攻が続くウクライナから避難してきたチジェンコ・アロナさんが8月25日、総社市で暮らし始めました。9月5日からは、市の会計年度任用職員として勤務。市内小中学校などで、ウクライナの現状と平和の大切さを伝える講話などを行っています。



平和の大切さを伝えるチジェンコさん



講演の合間に生徒との交流を楽しむ

美術作品が学校に出張 移動美術館がスタート

子どもたちが美術作品を身近に感じられる機会を作るため、8月31日から、市が所蔵する美術作品を市内小中学校で展示する「出張！学校美術館」がスタートしました。令和5年7月まで1～2点ずつ作品を入れ替えながら、順次展示を行います。

9月21日からは、市内の小中学校で1日限定の展示を行う「1日学校美術館」がスタートしました。ウクライナで美術関係の仕事をしていたチジェンコさんが選んだ作品や、書家の高木聖雨さんの作品などが展示されています。子どもたちは普段は見られない作品に興味深く鑑賞していました。



昭和中学校ではチジェンコさんが選んだ19点が展示された

地域交流・防災の拠点に

中央公民館池田分館完成

2月8日に中央公民館池田分館が完成し、落成式を開催しました。

新築された池田分館は、鉄骨造り平屋建ての床面積374.59㎡で、大ホールや調理室、和室などを完備。大ホールは、分館横を流れる榎谷川の清流にゲンジボタルが見られることから、「ほたるホール」と名付けられました。また、市民課北出張所を併設しています。



地域活性化のきっかけに

吉備路もてなしの館がリニューアル

4月8日、吉備路もてなしの館がリニューアルオープンしました。

施設内には、飲食コーナーやお土産コーナー、ギャラリーなどを備えています。飲食コーナーのメニューは、ミシュラン一星を獲得した日本料理店を運営する株式会社UMAIZEが監修。四季折々の食材を使ったもてなしランチなどを楽しむことができます。

